

# その いずみの園だより 69

vol.

2017.4.25

春季号



それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。コリントの信徒への手紙I13:13

社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団  
中津総合ケアセンターいずみの園

#### 基本理念

神と人々と仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする  
①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)

〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616 (代)  
http://www.izuminosono.jp E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp



サマリア館の園庭で遊ぶ児童クラブの子どもたち

## 65年ぶり社会福祉法人制度の改革は…

昨年3月、社会福祉法の改正があり、本年4月1日に施行されました。昭和25年施行の社会福祉事業法で新設された社会福祉法人ですが、65年ぶりの抜本的改革が行われ「経営のガバナンスの強化」「経営の透明性の確保」「社会貢献の責務化」などが求められました。地域の福祉ニーズが多様化、複雑化するなかで、社会福祉法人は福祉サービスの中核的な担い手として、公益性を堅持しつづけてこれまでに以上に積極的に地域社会に貢献していくことが期待されています。社会福祉法人は今一度創立の原点に戻り、地域社会の福祉の充実、発展に努めてまいります。

これまで理事長の諮問機関であった評議員会は今回の改正で法人の最高議決機関となりました。法人経営の監督機能を持ち定款変更の承認や理事長の解任など重要事項の議決を行います。当法人ではこの4月1日、新評議員会がスタートしましたが、その顔ぶれは元市商工会議所会頭、企業経営者、弁護士、医師、大学教授、キリスト教会牧師、前市議会議長、元市福祉部長、社会福祉法人理事長、職員OBなど、社会福祉法人の経営に関して豊かな識見を有する方々が選任されました。

理事会は法人の経営に直接責任を持つ執行理事として、9名中7名の法人職員が初めて理事に登用されました。企業でいえば取締役など会社経営の責任を持つ重役の役割でしょうか。2012年いずみの園では「新5か年プラン」を策定し、児童・高齢者・障がい福祉の総合化を図り「中津総合ケアセンター」と名称を変更しました。安心して住める中津を目指して、行政、議会、地域団体、医療、商工会議所、学校、消防、警察など、地域との連携をさらに深め、新しい法人の総力を結集して福祉のまちづくりに努力していきたいと願っています。ご支援をよろしく願っています。



社会福祉法人九州キリスト教  
社会福祉事業団 理事長  
中津総合ケアセンター  
いずみの園 総合施設長

富永健司

# 2017年度 法人本部・いずみの園事業計画

## 1. 基本方針『事業団・いずみの園職員としての誇りと責任、福祉のまちづくりへの挑戦』

2012年に策定した「いずみの園新5か年プラン」は16年度で終了、福祉の総合化プラン「中津総合ケアセンター」構想は順調に進捗しました。児童福祉から高齢者福祉、そして障がい者福祉の三本柱体制がほぼ整いつつあります。これからの超高齢社会に対応した地域包括ケアシステム（住み慣れた地域で最後まで）、地域共生社会（2016.8厚労省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部）推進の先駆例として一定の評価を受けています。また、今回の社会福祉法の改正による当法人の定款変更申請においては、その目的に「キリスト教の愛と奉仕の精神」という文言が初めて所轄庁より認可されました。このことを踏まえ、中津総合ケアセンターいずみの園と三保育園は「愛と奉仕の精神」でさらに事業を推進し、九州キリスト教社会福祉事業団の職員としての誇りと責任をもって福祉のまちづくりに挑戦を続けます。

## 2. 重点目標

### ①行政、地域との連携－福祉のまちづくり

- ・第3次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画
- ・中津市総合事業、地域支援事業への対応
- ・地域関係団体との連携
  - 医療、行政、福祉関係、地域団体、学校、警察、消防、農業、商工会議所、法人会、青年会議所、中小企業家同友会
- ・社会福祉の見直し、魅力のある事業所
  - 雇用創出、U・Iターン「中津で働きたい」、人材確保
- ・地域に貢献、発信する保育園
  - 子育てや生活など地域の福祉拠点



人材確保、検討チーム会合の様子

### ②地域包括ケアシステムの推進

- ・2025年問題、福祉のまちづくり
- ・小規模多機能型居宅介護事業「寄り合いセンターいずみ」
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）
- ・認知症対策－認知症カフェ、高齢者徘徊模擬訓練
- ・地域公益課－生活困窮者や制度の狭間対策、専従のCSW
- ・介護予防・元気老人対策－出張介護教室、介護予防教室
- ・市民参加、ボランティアの再構築、2毛作会



「オレンジカフェなかつ」の様子

### ③組織体制の確立「堅実経営」

- ・経営ガバナンスの強化
  - （業務執行）理事の誕生
- ・経営の近代化、合理化
  - 生産性、効率性、先駆性
  - 一企業経営に劣らない
  - 各事業部の経営分析
- ・法人本部、経営企画室の役割
- ・18年医療・介護の同時改定対策

続いて開かれた理事会では、評議員会の意見を踏まえ理事長からの各提案につき全員一致で議決して頂きました。

任期が終了する理事・評議員の方々にはこれまでの当法人へのご尽力に対し厚く御礼申し上げます。

（法人本部事務局）

改正社会福祉法（2016年3月31日成立）が2017年4月1日から施行となりましたが、当法人では定款の一部変更は本年1月23日付で所轄庁の大分県知事より認可があり、2月6日に開かれた「評議員選任・解任委員会（5名）」により4月1日からの新評議員11名が選任されました。

現評議員で最後となる2016年度第3回の評議員会を開催し、3月31日16時30分から中津市内のホテルで、①評議員の兼任禁止規程による理事の補充、②2016年度第2次補正予算案、③2017年度の事業計画および予算案、④改正社会福祉法で求められる関連規程の新設・改正等の議題につき評議頂きました。

改正社会福祉法（2016年3月31日成立）が2017年4月1日から施行となりませんが、当法人では定款の一部変更は本年1月23日付で所轄庁の大分県知事より認可があり、2月6日に開かれた「評議員選任・解任委員会（5名）」により4月1日からの新評議員11名が選任されました。

現評議員で最後となる2016年度第3回の評議員会を開催し、3月31日16時30分から中津市内のホテルで、①評議員の兼任禁止規程による理事の補充、②2016年度第2次補正予算案、③2017年度の事業計画および予算案、④改正社会福祉法で求められる関連規程の新設・改正等の議題につき評議頂きました。



懇親会の様子



理事会の様子

### ④人材育成、人材確保対策

- ・中間管理職講座、次世代リーダーの育成
- ・人材確保関連具体化検討チーム活動の継続
- ・高校新卒職員育成プログラム、エルダー制の充実
- ・外国人人材の導入（韓国、ベトナム）
- ・メンタルヘルス計画、安全衛生委員会の推進
- ・W.L.B（ワーク・ライフ・バランス）の推進



中間管理職講座の様子

### ⑤共生サービス事業の強化

- ・障がい者グループホームの建設
  - 設計、事業内容、人員配置の検討
- ・新規・中津市障がい者等幹幹相談支援センター事業の受託
  - 中津市障がい者相談事業の統括機関
- ・新規・中津市地域活動支援センター事業（I型）の実施
- ・就労継続支援事業の推進
- ・サマリア館事業の推進、強化
  - 子ども・高齢者・障がい者、多世代間交流、地域の寄合所

### ⑥いずみの園創立40周年記念事業準備委員会

2018年5月 いずみの園40年の歩みと将来に向けて「新生いずみの園」を画く  
総合調整班（事務局）、記念誌班、式典班、広報班

### ⑦レジデンシャルケア研究会議全国大会

2017年9月30日～10月1日 別府  
「地域包括ケアシステムと地域の未来」  
超高齢社会 人口減少 経済縮小 自助・互助 共生社会

# 2017年度第1回の評議員会・理事会の開催報告



評議員会の様子

2017年4月からの定款(1月23日認可)に則り、4月1日議決機関としての評議員会及び執行機関としての理事会のそれぞれ第1回が開催されました。

今回は10時からの理事会において2017年4月適用の諸規程の改訂につき審議・議決を行い、11時より開催された評議員会において、理事長より全員に委嘱状の交付と各評議員の自己紹介のあと、法人概要と3月31日に承認された2017年度事業計画の説明がありました。また、法人事務局よりの社会福祉法人制度と定款説明及び3月31日に承認された2017年度予算について説明が行われました。

社会福祉法に規定されたガバナンスの強化、地域社会への貢献、透明性のある情報公開などと上記の趣旨に沿った法人経営・運営に緊張感を持って臨んでいく所存です。

新評議員・役員の方皆さん、よろしくご指導方お願い申し上げます。(法人本部事務局)

## 評議員名簿 (任期2017年4月1日～2021年定時評議員会)

氏名	職業
安藤 元博	中津市商工会議所 名誉会頭
大継 徹朗	大分東教会 牧師
清源 万里子	弁護士法人清源法律事務所 弁護士
熊井 カホル	なし (元当法人ケアマンション聖愛ホーム長)
坂田 弘光	社会福祉法人佐賀キリスト教事業団 理事長
高山 優治	社会福祉法人みどり会 理事長 (元中津市福祉部長)
滝口 真	西九州大学 教授 (社会福祉学科長)
福成 清子	(有)商美専科フクナリ 社長 (小笠原家古流師範)
古川 信房	医療法人聖信会 理事長
古江 信一	中津市議会議員 (前議長)
吉田 秀久	株式会社全日警中津 代表取締役会長

(敬称略)



新しく評議員になっていただいた方(欠席2名)と、理事長の集合写真

## 2017年度組織関係

- ① 組織
- 4月1日付
- ① 共生サービス事業部相談支援課の下に中津市障がい者等基幹相談支援センターを設置する。
- ② 総務部に総務課、経理課を設置する。

## 2017年度人事関係

2016年11月21日以降

- ① 異動役職者
- 1月1日付 宮崎 千恵 相談課 主任  
伊藤明日香 介護課 主任
- 3月1日付 河端ハツエ 地域包括支援センター 課長
- 4月1日付 豊田 毅士 かきざサポートセンター センター長・共生サービス事業部次長兼務  
末延 政光 総務課 課長  
小松 証子 経理課 課長  
富永 義道 経営企画室 主任  
芥川 弘美 中央サポートセンター 主任  
山田 和恵 訪問介護課 主任  
藤田 恵子 介護保険サービスセンター 主任  
富永奈津子 いずみの丘エステル 主任
- ② 異動一般職
- 12月21日付 井上 宏美 相談支援課 相談員  
1月1日付 高藤 直樹 デイサービスふれんど館 介護員  
中尾 利恵 デイサービスふれんど館 介護員  
2月1日付 都留 新吾 デイサービスかきざ 介護員  
2月15日付 河野 直美 いずみの丘エステル 看護師

- 4月1日付 大島加奈美 ワークセンターシャローム 職業指導員  
高倉 香織 訪問介護課 サービス提供責任者  
厚ケ瀬桂子 かきざグループホーム 介護員  
松本 翔多 相談支援課 (基幹支援センター) 相談員  
上羽 正美 相談支援課 (基幹支援センター) 看護師  
小屋野重代 ワークセンターシャローム 職業指導員  
曾我 由美 いずみの丘エステル 生活支援員  
林 佳美 寄り合いセンターいすみ 介護員  
高西真未子 相談支援課 (基幹支援センター) 相談員

- ③ 新採用
- 1月1日付 荒川 幸恵 デイサービスかきざ 介護員  
2月1日付 安成 幸代 介護課 介護員  
2月20日付 中原 幸子 ベテルハウス 介護員  
3月27日付 田本 裕子 訪問介護課 ヘルパー  
4月1日付 宮名利芹香 介護課 介護員  
藤富 京香 デイサービスかきざ 介護員  
丸山絵理奈 寄り合いセンターいすみ 介護員  
宇留嶋あずさ 介護課 介護員  
三反 美奈 介護課 介護員  
永松 弦紀 介護課 介護員  
賀来 朱音 介護課 介護員  
今藤 健 介護課 介護員  
一松 美穂 経営企画室 事務員  
司城佐智子 聖愛ホーム 調理員  
岩井 小莉 デイサービスかきざ 介護員

(以上2017年4月1日まで)

# ひろば いずみの園広場

## ご利用者ご家族の声



マリアガーデン（事業所内保育施設）

伊東琉彩くんのお母さん 伊東 美紀様

わが子が「マリアガーデン」を利用して3年5ヶ月が経ちました。認可保育園の待機児童が多い中、事業所内に託児所があり、私たち職員はとても助かっています。

子どもたちの人数は少ないけれど、先生方が事業所内の行事に参加させてくれ、利用者や触れ合う機会を作って交流を深めさせてくださることは、子どもたちにとってすごくよい経験であり、なかなかできないことだと思います。子どもたちも園生活を毎日楽しく過ごしています。また、先生方は、一人ひとりの月齢にあった遊びや工作を作ったりと、いろいろな工夫してくださり、私たち保護者も安心して預けることができ、働きやすい環境にある「マリアガーデン」の位置づけは、とてもよいと思います。



マリアガーデンでのお遊戯



お子さんとの2ショット

## ご利用者ご家族の声



かきゼグループホーム いちよう

木戸ミドリ様のご家族 杉村美千代様

「ミドリさん、娘さんが来ましたよ。お部屋に行きましょうね。」やさしい職員さんお二人に支えられ自分の部屋へゆつくりと歩を進める母。「いずみの園かきゼグループホームいちよう」に入所させていただいて3度目の春を迎えました。

それまでの母は週4日デイサービスに通いながら自宅で過ごしておりました。そんな母が心配で私は4年間、週2〜3度は大分市から実家へ通っておりまして。そんなある日、幸運にもこの快適なグループホームに入れていただくことになったのでした。暑さ寒さに弱く、また寂しがりの母にとっては本当に安心できる住み処となりました。

恵まれた環境のもと、穏やかにそして元気に過ごしてきた母ですが、この頃衰えを感じることも多くなってきました。義歯が合わなくなると食べ物や飲み物が噛めなくなったり、椅子に腰掛けたままどうとどうする事が多くなったり等々。

しかし、これまでもその都度、職員の皆さま方が、少しでも良い方向にと考えては提案してくださいました。だから今も私は週に1度面会に行けるのです。母と向かい合い、笑い合っている食時の2〜3時間を一緒に過ごせる幸せを噛みしめています。こんな時間がまだ持てるのも「かきゼグループホーム」の職員皆さま方の手厚いお心遣いのおかげです。本当に深く深く感謝しております。毎日毎日ありがとうございます。



来園されたご家族と一緒に

# 『中津市障がい者等基幹相談支援センター』が開所しました



共生サービス事業部  
相談支援課 課長 角 令子

2017年4月に、中津市から「いずみの園」が委託を受け、中津市教育福祉センター内に『中津市障がい者等基幹相談支援センター』が開所しました。



センター事務所風景

住み慣れた地域で、安心して暮らすために、皆さんの不安や負担を少しでも軽くして、障がいのある方と家族等を支える中津市が行う公的事業です。障がいのある方やその家族・支援者の方からの障がいに関する総合的な相談支援を行います。

センターには、社会福祉士・看護師・相談支援専門員・介護支援専門員など6名の専門職員を配置しています。障がいのある方の地域生活を応援するため、相談・情報提供・サービス紹介、就労支援などを行い、自立と社会参加をお手伝いします。

また、虐待防止センターとして、虐待の通報を受け、必要な支援も行います。

今後は、関係機関と連携しながら、障がいに関する困りごとを考慮して課題解決を図る「中津市自立支援協議会」の後方支援や、障がいに関する研修会（障がい者虐待・障がい者差別解消法等）の企画運営などを行っています。障がいのある方も地域で自立した生活ができる共生社会を目指して、貢献していきたいと思えます。

『中津市障がい者等基幹相談支援センター』  
中津市沖代町1-1-11 中津市教育福祉センター内  
TEL 0979-126-11555  
FAX 0979-126-11556

# 『地域包括ケアシステム』の当園での取組



介護保険サービスセンター  
主任 藤田 恵子

「地域包括ケアシステム」は国の政策として、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に「高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援のサービスが包括的に確保される体制づくり」を目指すものです。「いずみの園」も中津市の中でその役割を担えるように取り組んでいます。内容として

- \*病院にかかる状態になれば医療機関との連携を図り、在宅生活を送るために必要な情報を頂き、自宅での支援に繋がります。
- \*介護が必要になれば、改善を目指した視点を持ち様々なサービスをご説明いたします。
- \*介護状態にならない予防の観点から各種の教室やサロンを開催致します。

既存のサービスに限らず、ボランティア団体、自治会など地域の皆様の支援が重要な資源となります。



「地域包括ケアシステム」を実践することで、高齢になっても自分らしく生きる事が出来るような地域作りを目指していきたいと思えます。

# 『訪問看護ステーション』の取組



訪問看護課  
主任 中野 尚義

「いずみの園訪問看護ステーション」は、看護師6名、理学・作業療法士各1名の計8名で運営しています。「看護師に健康状態の確認や病気の相談がしたい」「自宅で看取りたいけど不安がある」「点滴や傷の処置が必要だけど通院できない」「自宅でリハビリを受けたい」と、ご利用者やご家族の様々なニーズに対してご自宅にてサービスの提供をしています。

国が進める「地域包括ケアシステム」の中で、自宅に医療を提供する訪問看護の機能は注目されており、昨年は北部保健所主催の切れ目のない在宅医療の提供を構築することを目的に、市内の病院に勤務している看護師の方々の実習や、中津市民病院の副看護師長等の実習の受け入れを行いました。参加した看護師からは「医療依存度が高い方でも、自宅で生活することができると実感できた」とのご意見もあり、訪問看護の有用性も浸透したと感じております。



実習中のカンファレンスの様子

リハビリは理学・作業療法士が自宅に訪問し、自宅内での生活を確認しながら、専門的な視点で運動指導や環境調整等を行い、在宅生活での課題点を解消しています。これからも、地域医療を支える一事業所として医療機関との連携を図り、ご利用者様が安心して住み慣れた自宅での生活を送れるよう支援を行っていききたいと思えます。

# 特養での歯科医師との連携について



嚥下内視鏡検査について説明をうけている様子



ミールラウンドを行っている様子

「特別養護老人ホームいずみの園」では、2016年12月より、新たに「前田歯科クリニック」院長の前田隆洋先生が協力医として関わって下さるようになりました。前田先生は、毎週月曜日に特養内多職種で構成されている「栄養サポート委員会（いずみの園NST）」の活動の一環である「ミールラウンド（食事の観察）」にも参加して下さっています。

今回、摂食、嚥下リハビリテーション専門医の前田先生が関わって下さることで、医学的な見地より、栄養面も含めた具体的な指導、助言を頂き、一層の効果、改善も見られるようになっていきます。また、多職種で「ミールラウンド」を終えた後は、昼食を摂りながら、観察の結果についての協議、自由な意見交換を行っています。

他にも、今までクリニックで行っていた嚥下困難者の飲み込みの状態を知るための嚥下内視鏡検査（VE）も施設内で実施できるようになりました。

加えて、当園では「若水歯科クリニック」院長の若水享先生にも歯科協力医として定期的に往診して頂いており、お二人の歯科医師の協力のもと、口腔環境を整え、経口摂取の維持に向けて強化できる体制が整ってきました。

今後とも先生方のご指導の下、誤嚥性肺炎などの予防に努めながら、最後まで安全に食事が楽しめるような支援を「栄養サポート委員会」として行っていき、尊厳のある生活に向けて取組んでいきたいと思っております。



特養事業部 リハビリ課  
歯科衛生士 東 久美

# 特養多職種協同での取組が、研究大会で最優秀賞に選ばれました



ご利用者、ご家族の方々の理解が得られ、本研究発表に取組めたことに感謝申し上げます。



頂いた賞状



研究大会会場の様子

2016年10月27日、大分市のレンブランドホテル大分にて、「平成28年度大分県高齢者福祉施設等実践研究大会」が行われました。この大会の目的は、県内施設の全体的なサービスの質の向上を目指し、職員自身の業務改善、職場の活性化に繋げる為に開催されており、施設等での日々の取組や成果を発表する場となっています。2016年度は、参加人数総勢417名で行われ、36施設の研究発表がありました。参加者のアンケート結果を元に、最優秀賞という素晴らしい賞を頂くことが出来ました。

発表に至るまでには、多くの諸先輩方から、助言や指導を頂きました。また、この受賞結果は、ご利用者、ご家族、職員全員での取組にだけうれしさはより一層です。

今年の7月に熊本で行われる九州大会でも発表する機会があり、大分県内だけでなく、九州の他施設にも特養の代表として現場の取組を伝えていけたらと思っております。



特養事業部 リハビリ課  
作業療法士 南 采香

# 『いずみの丘エステル』開所から9ヶ月



ご利用者から毎日元気をもらっています



エステルにて、作業中の風景

昨年8月より事業スタートとなった「いずみの丘エステル」ですが、多くの方の力をかりて開所から9ヶ月を迎えることができました。

昨年は日々の創作活動や軽作業だけでなく、児童発達支援事業の子どもたちとの合同の芋掘り、自分たちで育てた野菜をたっぷり使った鍋パーティーやカレーライス作り、季節に応じたおやつ作りなどを行うことができました。かかしワールドや「河津桜」なども見に行き、季節を感じる外出行事にも取組むことができました。「おいしい」「楽しかった」「またしたい」など、ご利用者の笑顔を見るたびに一歩ずつではありますが、事業所として成長していけるように感じています。「エステル」には「星」という意味があり、ご利用者にとっての「希望の星」となれるように願ってこの事業所名をつけました。ですが、開所して9ヶ月を迎えた今、ご利用者のご家族の笑顔こそが、私たちににとっての「希望の星」となっています。

4月から中津支援学校と宇佐支援学校の卒業生3名を迎え、新たなスタートをきります。これからもご利用者の笑顔を大切に、精一杯支援をしていきたいと思っております。



いずみの丘エステル  
主任 富永奈津子

# 園内の花、木を探索

「いずみの園」の敷地内にはたくさんの花や木が植樹されています。その花、木をシリーズで紹介いたします。

## ●モクレン (木蓮)

モクレンにはシモクレン (紫木蓮)、ハクモクレン (白木蓮)、サクラモクレンなどの種類がありますが、園芸上はモクレン=シモクレン (紫木蓮) だそうです。

以前、ハクモクレンをご紹介しましたが、「いずみの園」にはこのシモクレンも植樹されています。

恐竜時代の地層からモクレンの仲間の化石が発見され、「地球上の最古の花木」ともいわれているそうです。

3月下旬ごろに咲く紫色で上品な花は、春を告げる花として中国、日本を始め世界中で人気があるそうです。

花言葉は「自然への愛」です。



# 聖書のことば・人の言葉



堤 健生

「日本とアメリカでは習慣が逆になる場合がある。例えば：日本ではのこぎりを引いて切るが、アメリカでは押し切る：キリスト教にもこれに似た反対のことがあって、人間は生まれてから死ぬが、キリスト教では死んでから生まれた、というたとえ話のようですが、私は本当にそう思っています」

「人生おもしろ説法」 田河水泡 著

4月16日(日)はキリスト教の三大祭りの一つイースター(復活祭)です。卵に綺麗な色を付けて、もらったことがある方もいらっしゃるでしょう。死んだような卵から命芽生える姿から、十字架上で亡くなったイエス様がよみがえって今も生きています。象徴しています。

のらくろの著者田河氏は弟子の長谷川町子氏の感化でキリスト者となられた方ですが、死んで生まれる自身のイースター体験を記されました。

# 韓国からきた職員が、いずみの園で頑張ってくれています。

「中津総合ケアセンターいずみの園」では、昨年7月より韓国人の職員2名が働いています。そのうちの1人「ジョ・スンジュ」さんが、昨年の12月に行われた「日本語能力試験(JLPT)」の「N3(3級)」に合格したことを報告しにきてくれました。



ジョ・スンジュさん

に合格したことを報告しにきてくれました。難しい試験ですが、彼女はとても優秀な成績で合格しました。まだ1年足らずの日本滞在期間にも関わらず、日本語もメキメキ上達し、同僚からの信頼も厚く、今ではいずみの園になくてはならない大切な職員です。彼らのこれからの更なる成長に期待しています。ジョさん、おめでとうございます。(経営企画室)

# 「第22回ボランティア交流会」が行われました。

3月10日(金)、いずみの園「地域交流ホムいずみ館」で、「第22回ボランティア交流会」が行われました。

「ボランティア交流会」は、いずみの園にボランティアとして携わって頂いている方々と、職員の交流を図るために毎年行われている会で、今年は45名のボランティアの方と13名の職員が参加して行われました。

まず当法人富永理事長から、「日頃ボランティアの皆さんにご支援、ご協力いただきありがとうございます。今後とも引き続きよろしく願っています。」との挨拶のあと、「認知症予防と現状」と題して、当園在宅サービス事業部伊藤次長による講演がありました。

その後、全員で会食を行い、終始なごやかに、交流を深めました。

ボランティアの皆さん、今後ともよろしくお願いたします。

(人材育成・研修センター)



伊藤次長による講演



会場風景

# マリアガーデン 毎日元気な子どもたち



園児の体操をしているマリアガーデンの子どもたちは、毎日お仕事を一生懸命にこなしている職員に癒しをもらっています。朝の体操をして、成長して、それを保護者の方と一緒に喜び合えるのもマリアガーデンならではだと思います。毎日お仕事を一生懸命にこなしている職員に癒しをもらっています。朝の体操をして、成長して、それを保護者の方と一緒に喜び合えるのもマリアガーデンならではだと思います。毎日お仕事を一生懸命にこなしている職員に癒しをもらっています。

(マリアガーデン)

事業所内保育施設「マリアガーデン」が開所して、4月で5年が経過しました。「マリアガーデン」は、「いずみの園」で働く職員の福利厚生施設として開園以来、たくさんのお園児が登園してきてくれました。この4月現在では6人の園児がいます。毎日、保育士のたてた保育計画に基づき、様々な経験を重ねています。0歳から3歳まで幅広い年齢層ですが、兄弟のような関係を築いて一緒に遊んだり生活する姿は見ていて温かい気持ちになります。

また、世代間交流の一つとして、ご利用者の方との関わりを経験するなかで優しい気持ちも持てるようになりまし。少人数ならではの良さを活かし、子どもたちも日々成長して、それを保護者の方と一緒に喜び合えるのもマリアガーデンならではだと思います。毎日お仕事を一生懸命にこなしている職員に癒しをもらっています。

# 編/集/後/記

「春と聞いて思い出すものに、卒業、進学、別れ、出会い、就職、異動、転勤、など種々あるが、どれも心新たに感じる。来春は、いずみの園では、今年9名が新たに職員として加わった。

39年前の春、1978年4月10日に「いずみの園」がこの中津の地に誕生し、来春では40周年となる。

創立40周年に向けての準備委員会も立ち上がり、来春に向け心新たに準備がスタートした。

この「編集後記」を60号から約3年にわたって担当してきましたが、この69号をもって編集責任者を交代いたします。拙い編集後記でしたが、これまで読んで頂きありがとうございました。(末)

# いずみの園の開設40周年に向けて

「中津総合ケアセンターいずみの園」は、1978年4月10日に「特別養護老人ホームいずみの園」として開設し、来年の2018年で40周年を迎えます。この2018年には、開設40周年の記念事業を計画しており、その準備のため「いずみの園創立40周年記念事業準備委員会」を立ち上げ、2016年12月14日に第1回の委員会を開催しました。この委員会は、理事長を委員長として、「式典班」、「記

念誌班」、「広報班」、また各班の進捗や内容などを調整する「総合調整班」からなり、28名の職員で構成されています。今回の委員会では、それぞれの班が連携し、記念事業の取組を行っていくことを確認しました。そして今年度より本格的に「40周年記念事業」に向けて準備がスタートしました。事業成功のため職員一丸となってこれから準備に取組んでいきたいと思えます。



第1回委員会の打合せ

## 特養で家族交流会を開催しました。

2017年3月18日、「特別養護老人ホームいずみの園」にて、「家族交流会」を開催しました。面談や面会時以外にも、もっと職員とご家族の距離が近くなるように、普段行っていない取組をご家族の方に理解してもらえようという趣旨で企画しました。

今回は34名のご家族が参加され、経口移行や学習療法などの取組の紹介、ムース食やゼリー食の試食などを行い、意見交換をしました。ご家族からは「自分も勉強になった」「こんなことまでしてくれると知って安心できた」など貴重なお声をいただきました。

(特養事業部)



試食会の様子



いずみの園の取組を紹介中の風景

## 「いずみの園職員全体会」が開催されました。

「中津総合ケアセンターいずみの園」では、毎年年度末に、次年度の事業運営方針、人事異動や新規採用職員紹介等を発表する「職員全体会」が、いずみの園全職員を対象として行われます。

2016年度は3月30日(木)、「地域交流ホームいずみ館」にて、職員216名の参加により行われました。

最初に、富永理事長より2017年度の法人事業計画並びにいずみの園事業計画・基本方針が示され、「福祉を取り巻く状況はこれから一層厳しくなることが予想されるが、皆さん職員は『いずみの園』の職員としての誇りと責任をもって、皆で協力して乗り越えていき、福祉のまちづくりの実現に貢献していただきたい。」との挨拶がありました。

その後、各部長・センター長よりそれぞれの部の事業計画の発表があり、続いて人事異動・昇格者の発表、最後に新卒新任職員の紹介がありました。

また例年、全体会議後に「職員親睦会いずみ会」の総会があり、その場にて2017年度の新役員の紹介がありました。

以上をもって年一回の職員全体会を終え、職員一同気持ちを新たに新年度へと向かいました。

(総務部)



理事長挨拶



会場の参加職員

## 2017年辞令交付式、新入職員入職式が行われました。

4月1日付で昇格となった役付以上の職員への辞令交付式と、新卒採用された9名の職員の入職式が4月3日(月)8時45分から行われました。富永理事長より各自に辞令が渡され、「いずみの園で地域づくりのため共に頑張ってください。堂々と誇りをもって仕事にあたって下さい。」と挨拶がありました。

次に法人本部事務局より「分からないことは一人で抱え込まず先輩方に聞き、利用者・職員から信頼を得る努力をして下さい。」と職員を代表して歓迎の言葉がありました。

最後にチャプレンのお祈りをもって式を終了し、気持ちをあらたに「いずみの園」の2017年度がスタートしました。

(経営企画室)



当日出席した7名の新人と理事長

### 受講生募集

いずみの園では各種研修講座を行っています。

#### 介護職員初任者研修 どなたでも受講できます。

- 次回開催：2017年7月3日(月)～9月19日(火)
- 受講費用：60,000円(他テキスト代等)
- 募集定員：40名
- 研修会場：いずみの園内

#### 介護職員実務者研修 通信課程

介護福祉士国家試験受験に必須の研修です。

- 次回開催：2017年5月1日(月)～8月29日(火)
- 受講費用：お問い合わせください。
- 募集定員：40名
- スクーリング会場：いずみの園内

申し込み・お問い合わせ先 人材育成・研修センター TEL:0979-23-1616